

第三十回帝國議會 衆議院 地方學事通則改正法律案外一件(實業教育費國庫補助法改正法律案) 委員會會議錄(速記)第三回

會議

大正三年三月六日午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

- 戸水 寛八君 岸本 賀昌君 島田 俊雄君
- 荒川 五郎君 山宮 藤吉君 八木 逸郎君
- 花井 卓藏君

出席政府委員左ノ如シ

- 文部次官 福原鑣次郎君
- 文部省專門 學務局長 松浦鎮次郎君
- 文部省普通 學務局長 田所 美治君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

地方學事通則改正法律案

實業教育費國庫補助法改正法律案

○委員長(法學博士戸水寛八君) 是ヨリ委員會ヲ始メマス

○岸本賀昌君 チヨット伺ヒマスガ、是ハ現行法デモサウナッテ居リマスガ、第六條ノ學務委員ノコトデアリマスガ、此學校ノ事ハ市町村ノ自治ノ經營ニ任スト云フノガ大體ノ趣意ニナッテ居リマシテ、町村ナリ市ナリノ制度ニ依ルト委員ト云フモノハ任意ニ設ケテヤッテ居ル、ソレハ自治ノ働キテ任意ニ其機關ヲ設ケテ學校ノ事ヲヤッテ居ルノデアリマスガ、此法律ニ依テ一大例外ヲ作ッテ、是非學務委員ヲ置カナケレバナラヌト云フ義務ヲ負ハセル、土木勸業等ノ事ハ總テ市町村ニ任セテアルノニ、學事ダケ任セラレヌト云フノハ、何カ特別ノ理由ガアリマスカ

○政府委員(田所美治君) 教育ノ事ハ御承知ノ通り小學校令ノ規定デ以テ、或ハ學校ヲ設置スルトカ維持スルトカ、教育ノ費用ヲ出ストカ教員ノ俸給ヲ出スト云フヤウナ市町村ノ負擔ヲ致シテ居ルモノハ、重ナル經營ヲ市町村ニ任シテ居リマスケレドモ、教育行政ト云フ仕事ハ何處ニ屬シテ居ルカト云ヘバ、國ノ行政デアアル、斯ウ云フヤウニ從來モ考ヘテ居リマスルシ、今日モサウナクテハナラヌ、斯ウ云フ方カラ考ヘマス、丁度市町村制デ市町村ノ自治事務ノタメニ委員ヲ任意ニ作ルノトハ性質ガ違ッテ、國政事務ニ付テ例ヘバ就學ノ督促デアアルトカ、即チ國民教育ヲ國家ガ強制スルト云フ國家ノ事務ノタメニ學務委員ハ活動シナケレバナラヌ場合ガ澤山アリマス、其他設備ノ事ニ付テ、即チ市町村ニ委任シタ市町村ノ事務ニナッテ居ル點ノ仕事モアリマスガ、第一ニ學務委員ノ爲スベキ重ナル仕事ハ兒童ノ就學ヲ督促スル、ソレハ何デアアルカト云ヘバ、國家ガ設ケタ國民ノ義務教育ヲ強制セシムルト云フ、斯ウ云フ國ノ教育事務ノ仕事ヲヤラセ

ル、斯ウ云フ事ガ第一ニ學務委員ト云フモノヲ小學校令アタリハ必要ト感シテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ即チ小學校令デ此町村ノ任意ニ任セズシテ、學務委員ヲ小學校令トニ關シテハ必ズ作ッテ、サウシテ就學ノ督促ナドヲ第一ノ職務權限トシテヤラセ

ルト云フ必要ガアルノデ、小學校令ニハ學務委員ヲ強制的ニ置カシメルコトヲ規定スル必要ガアリマスノデ、從來モサウナッテ居リマスガ、將來モ益々就學等ノ督促ヲ致シタイト云フ考デ、此規定ヲ存シテ置キマシメヤウナ次第デアリマス

○岸本賀昌君 ソレハ成程國ノ事務ヲ取扱フト云フコトモ隨分アリマセウ、ケレドモ國ノ事務ヲヤラセルトシテモ法律デ委任シテ置ケバ出來ル話デ、職務權限ヲ定メテ置ケバ出來ルグラウト思ヒマスガ、殊ニサウ云フ御趣意デアアルト第一項ト第二項ト矛盾スル點ガ出ハセヌカ、第一項デハ市町村ハ必ズ置カナケレバナラヌト強シテアッテ、第二項ノ方デハ置クコトヲ得ルト云フコトニナッテ居ル、均シク教育ガ大切ナル國ノ事務デアアル以上ハ、市町村ノ教育ノ事務モ亦市町村内ニ學區ト云フモノヲ設ケテ、教育ノ事務ニ付テ今ノ就學督促ノコトニ付テ十分ヤラナケレバナラヌト云フヤウナ點ニ於テハ、少シモ變ッタコトハナイ、均シク國ノ行政ヲ取扱ハセルト云フ上カラ云ヘバ、一項モ二項モ一律ニ出デナケレバナラヌノガ當然デアアル、然ルニ一項デハ必ズ置カナケレバナラヌト強シ、二項ノ方デハ任意ニ任セルト云フノハ、事理ガ一貫セヌ氣味ガアリハセヌカト思ヒマスガ如何デスカ

○政府委員(田所美治君) 是ハ實ハ小學校令デハ同ジヤウニ強制シテ置カシテ居ルコトニ現行モナッテ居リマスシ、將來モソレハ變ヘナイ積リデアリマスガ、學區ニ關シマシテハ市町村ノ財產營造物ニ關スル規定ヲ準用スル、斯ウ云フノデアリマシテ、市町村ハ當然今御尋ノヤウニ委員ガ置ケルト云フ規定ガアリマスガ、學區ノ方ハ市町村制ノ規定ヲ準用シテ活動セシムルト云フ趣意カラ規定シタルモノデ、法律ノ規定トシテハ、第一項第二項ト分チマシメヤッテゴザイマスケレドモ、勅令ノ規定ハ丁度御尋ノ通りデゴザイマス、働キハ市町村ト同様ニ學區モ強制的ニ置ケルト云フコトヲ規定シテ居リマスガ、丁度學區ト市町村トノ關係ガ今申サウナ規定デアリマスカラ、現行モ此通りデアリマシテ、只ソレヲ變テ置キタメデアリマス、趣意ハ勅令デ強制スル積リデアリマス

○岸本賀昌君 今ノ御話デアアルト此法律ニハ委員ヲ置クコトハ任意ノ規定ニナッテ、置イテモ置カヌデモ宜イガ、勅令デハ絕對ニ置クベシト云フコトハ此法ノ精神ヲ没却スルコトニナリハシナイカ、勅令ノ定ムルコトニ依ルト申シテモ、委員ヲ置クニ付テノ權限ヲ定メルトカ、組織ヲ定メルト云フヤウナコトハ勅令ニ依ッテモ宜イガ、法律デハ置クコトヲ得トシテ居ルモノヲ勅令デ置クベシト云フ規定ヲ設ケラレルト、法律ノ精神ヲ没却スルコトニナリハセヌカ

○政府委員(田所美治君) 市町村デハ市町村制ニ依テ學務委員ヲ置クコトヲ得ルコトニナッテ居リマス、學區ハ即チ地方學事通則ノ數箇條ノ規定ニ依ッテ初メテ設定セラレ尙權限ヲ規定サレテ居ル、其權限デ學區ハ學務委員ヲ置クコトヲ得ト云フノハ、御承知ノ通り市町村制ニ依テ其必要ナ場合ニ於テ置クコトヲ得ト、斯ウ云フ規定ノ積リデ、二項デ學區ニ置クコトヲ得ル權能ヲ與ヘマシタノデアリマス、勅令ノ定ムルコトニ依ルト云フ言葉ハ、強制的ニ置クコトモ出來レバ人員ヲ制限スルコトモ出來ル、既ニ市ハ何人、町村ハ何人ト云フヤウナコト、或ハ小學校教員ヲ加ヘルトカ種々定メテ居リマ

スガ、勅令ノ定ムルトコロニ依ルト云フ一項モ同様デ、ソレヲ強制スルコトハ勅令ニ讓テ、六條ノ二項ハ學區ハ市町村長ト同様ニ委員ヲ置クコトノ權能ヲ與ヘルト云フ積リデアリマス、市町村制ノ第何條ヲ準用スルモ宜イト考ヘテ居リマスガ、一項ト二項トノ趣意ガ違テ居リマスカラ、ソレヲ規定シマセヌデ、ツマリ學區ハ委員ヲ置クコトヲ得ルト云フ規定ガ何處ニモナイノデ、一條ニハ財產營造物ニ關スル規定ヲ準用スルコトハアリマスケレドモ、委員ノ規定ガナイノテソレヲ補正シテモデアリマス

○岸本賀昌君 結果ハ同様ニナルカ知りマセヌガ、私ノ趣意ハ斯ウ竝ベテ一方ハ置クベシ一方ハ置クコトヲ得トナテ居リマスカラ、今御話ノヤウニ準用スルコトカ何トカ云フコトニナルト、原則ガ一ツニナテ適用ガ一致スルコトニナルト思ヒマス

○政府委員(田所美治君) 先程申シマシタ規定ガ少シ間違ッテ居リマスカラ訂正致シマス、此小學校令ノ施行規則ハ區ハ必ス置クコトニナテ居ルヤウニ思ヒマシタガ、勅令ノ方ニ於テ置クコトヲ得ト云フコトニナテ居リマス、條例ノ規定ニ依ッテ市町村ハ必ス置カナケレバナラヌコトニナテ居リ、又町村組合或ハ學區ニ關スル條例ヲ作ッテ置クコトヲ得トナテ居リマスカラ、先程ノ強制ニナテ居ルト申シタノハ間違ヒデアリマスカラ訂正致シテ置キマス、是ハ察スルニ市町村ト同様ノ目的ノタメデアルカラ、サウ云フ趣意カラ強制セズシテ宜イデヤナイカト云フ御話デアリマスガ、組合或ハ學區ハ多少市町村ト區域ヲ異ニスル所ニ依テ、必要ナ場合ニハ置キ得ル、又必要ヲ認メヌ市町村組合ハ自然ニ督勵スルコトモ出來マスカラ、別ニ強制ニ置カナクテモ宜イ、ツマリ區ノ方ハ區域モ自然小サシ、市町村ニ學務委員ガ強制ニ置イテアルノデアリマスカラ、其必要ガナイ場合モアラウト云フヤウナコトヲ想像シテ、斯ク規定シタ次第デゴザイマス

○岸本賀昌君 私ハ大小ヲ以テ言フモノ、デハナイト思ヒマス、事務ノ性質其他カラ先ヅソレハソレ宜イシトシテ、モウ一ツ七條ニ市町村學校組合、町村學校組合ト斯ウ云フ風ニアリマスガ、町村學校組合ト云フ特別ノ名稱ヲ下サンケレバドウ云フ不都合ガ起リマスガ、現在ノ法律ニモアリマスガ、市町村ガ教育事情ノタメニ組合ヲ設ケテ而シテ事務ヲ管理經營スル上ニ於テ、土木モ衛生モ別段差支ナイヤウニ思ヒマスガ、此必要ガ何所ニアリマスカ

○政府委員(田所美治君) ソレハ全ク便宜ノ規定デアリマス、教育業務ノタメニ設クル市町村組合ガサウ云フコトヲ一々指定スル場合ニ繁雜ヲ厭ハヌナラソレ宜イシウゴザイマスガ、幸ニ現行ノ規則ニモ町村學校組合ト云フ名稱ヲ使ッテ居ルノデ、ソレヲ襲用シテ教育事務ノタメニ設ケル町村組合デアリマスケレドモ、水利事業ノタメニ設ケル組合、勸業事務ノタメニ設ケル組合ト云フヤウナモノガ種々アリマスカラ、從來ノ名稱ヲ襲用シタニ止リマス

○岸本賀昌君 此附則ノ末項ニ「從前ノ規定ニ依リ設ケタル府縣都市町村ノ基本財産及積立金ハ府縣制、郡制、市制、町村制ニヨリ設ケタルモノト見做ス」從前ノ規定ヲ設ケラレタ基本財産ハ隨分種々雜多ノ規定ガアリマシテ、アレハ學校基本財産ト云フヤウナ特別ノ名稱ニナテ居ルヲ思ヒマスガ、今後ハ學校基本財産ト云フ特別ノ名稱ハ今ノ組合ノ法ニ付テハ別ニ町村學校組合ト稱シナガラ、基本財産ニ付テハ學校基本財産ト云フヤウナ名稱ハ廢止ニナテ、普通ノ基本財産ト云フコトニナテ居ル、ヤハリ學

校ト云フ名稱ヲ付ケル積リデアリマシタガ、從來モ學校基本財産ト稱スルコトカ、幼稚園基本財産ト稱シテハナイノデアリマシテ、從來ハ地方學事通則ノ現行ノ第九條第十條ナドニ基本財産ノ規定ガアリマシテ、「設ケルコトヲ得」ト斯ウ云フコトニナテ居リマス、是ハ丁度御尋ニナル名稱ハ法律ノ規定ニ依ルノデハナクシテ、便宜ノタメニ出來テ居ル名稱ト考ヘルノデアリマスガ、此附則ヲ附ケマシタノハ、丁度現行ノ九條十條ハ御承知ノ通り縣制、郡制、市町村制ノ改正ノ爲メ、基本財産積立ノ組合ガ學事通則ニ設ケテ居ルヤウニ働キハ別ニ補則的ニ學事通則ニ設ケナクモ、地方ノ便宜ニ依リト云フ所カラ、是ハ本則ノ通りニ爲ス積リデアリマス、名稱ハ府縣制、郡市町村制ニ依レバ出來マセウガ、ソレハ會計事務ノ方法ニ一任スル積リデアリマス

○島田俊雄君 大概質問シナイ積リデアリマシタガ一應御問シテ置キタイ此學事通則ノ方ノ第一條ト第七條等ニ勅令ヲ以テ定メルコトガ出來ルト云フコトニナテ居リマスガ、私共ハ此市制町村制ヲ條文ニ考ヘテ見マスルノニ、斯ウ云フヤウナ勅令ヲ以テ定メルヤウナ實際ヲ想像スルコトガ出來ナイヤウニ思フノデアリマスガ、ドウ云フ場合ヲ想像シテ勅令定ムルト云フコトヲ此處ニ擧ゲテ居ラレルノデアリマセウカ、單ニ將來斯ウ云フコトガ何カアリハセヌデアラウカト云フ用心ヲ爲ニ設ケタ規定デアリマスカ、或ハ差當リ此法律ガ出レバ勅令ヲ以テ斯ウ云フコトヲ別段ニ規定シタイト云フヤウナモノガアリマスカ、其點ニ付テ御說明ヲ伺ッテ置キタイ

○政府委員(田所美治君) 例ヘバデス、此市町村組合ノ方カラ申上ゲテ見マスルト、今度市町村組合ト云フモノガ改正時代ト出來マスモノガ、其市町村組合ノ規定ガ數箇條アリマシテ、是ハ御覽ニ上ゲマシタ通りデアリマスガ、ヤハリ任意ノ組合ト強制スル場合ノ組合ト兩方アリマス、其強制スル場合ノ組合ト府縣知事若クハ市町村組合トハ郡長ガ設クルノ必要アリト云フコトヲ認メタ場合ニハ、強制シテ其組合ヲ設ケシムルコトヲ得、斯ウ云フヤウナコトニナテ居リマス、ソレヲツクリ準用シテ別段ニ勅令ヲ規定ヲ補正スルト云フコトニナルト云フト、公益ノ認定ト云フモノハ知事郡長等ニ一任シナケレバナラヌ、然ルニ此現行ノ小學校令ノ働キヲ見マシテモ、其方ハ一歩進ンデ居リマシテ、例ヘバ町村ガ貧弱デアルトカ或ハ其兒童ノ數ガ一小學校ヲ起スニ足ラヌトカ、ソナナ場合ヲ認定シテ、一面ニ言ヘバ公益ト認メルコトガ出來ル其場合ハ、必ス學校組合ヲ設ケシムルト云フ條文ガ極ッテ居リマシテ、其餘又サヘ具備スレバ必然的ニ設ケルト云フコトニ極ッテ居リマスカラシテ、若シ之ヲ許スト云フト知事ガ一々公益デアルヤ否ヤト云フコトガ認定ニ依テ考ヘガ動クト云フコトニナリマスカラ、今後ノ小學校令ナドハ、今ノ市町村制ノ組合ヨリ一歩進ンデ居ルト言ハナケレバナリマセヌ、ソシナ場合ヲ小學校令デヤ、市町村制ヲ補正シテ行クト云フコトデ、第七條ノ場合ナドハ、一例ヲ申上ゲルトソシナ規定デゴザイマス、學區ノ方ニ付キマシテハ現行ノ規定ニハ丁度今申上ゲルヤウナ勅令ガゴザイマセヌカラ、是ハ第一條御承知ノ通り學區ニ關シマシテハ市制町村制ノ財產區ノ規定ヲ適用スル、財產區ノ若クハ營造物ト云フモノニ付テモ一部ノ規定ヲ準用スル、斯ウ書イデアリマスガ、市町村ノ區ノ規定ヲ見マシテモ、市町村ノ財產營造物ニ關スル規定ヲ漠然ト總テ準用致シマシテ、尙ホ必要ナ場合ニハ勅令ヲ以テ別段ニ規定ヲ設ケルコトヲ得、斯ウ云フコトガ市町村制ニモアリマス、其規定ヲツクリ移シマシテ、

學區ハ市町村ニ準ジテ設ケルノデアリマスカラ、現行ノ例ヘバ百四十四條ニ市ノ一部ニシテ財産ヲ有シ又ハ營造物ヲ設ケタルモノアルトキハ其ノ財産又ハ營造物ノ管理及處分ニ付テ本法中市ノ財産又ハ營造物ニ關スル規定ニ依ル但シ法律勅令中別段ノ規定アル場合ハ此限ニ在ラス」斯ウ云フコトニナツテ居リマス、此百四十四條ヲソクリコッチヘ移シ入レ、便宜カッタデアリマスケレドモ、百四十四條ヲチヨット補填サレコトガ出來ナイ場合ニナツテ居ル、財産ヲ所有スルコト云フ現行ノハ預カラアリマス、ソコデ百四十四條ニ各財産ヲ設ケルノデアルカラ、財産ヲ所有シ得ルコト云フ見解ニ付テ疑ガアル、今度ハ此百四十四條ヲ準用シマセヌデ百四十五條以下ヲ準用シタデアリマス、其方ノ働キハ市ノ財産營造物ニ關スル附則ノコトニナツテ居リマス

〔質問終了〕下呼フ者アリ

○委員長(法學博士戸水寛人君) 諸君ニ御質問ガゴザイマセヌケレバ質問終了ト致シマス——次ハ實業教育費國庫補助法案、之ニ付テ諸君ノ御質問ガアリマス

○島田俊雄君 他ニ質問ハ少シモアリマセヌガ、唯一ツ文字ニ付テ第六條ノ違例ト云フ譯デハナイドラウト思ヒマスガ、少シ不穩當カト思フデアリマス、何カ是ハ貴族院ヲ審議ノ際ニ質問デモ此點ニ付テ出テハ居ラヌカ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマスガ第六條ノ「又ハ其ノ學校主務大臣ノ定ムル規程ニ違背シ」ソレカラズト下ニ「若ハ補助ノ條件ニ違反シタルトキハ」ト斯ウアル、私共ノ普通承知シテ居リマス所デハ、規程ニ背クト云フヤウナ場合ニハ違反ト云フ文字ヲ用ヒ、ソレカラ條件ニ背クト云フ場合ニハ違背ト云フ文字ガ用井テアルヤウニ考ヘテ居リマス、此點ニ付テハ見通サレタノカ、立案者ニ特殊ノ御考ガアツタノカ、或ハ私が寡聞デサウ云フ事ヲ間違ヘテ記憶シテ居ルノカト考ヘマスガ、其點ヲチヨット御聽シテ見タイト思フ、成ベク是ハ貴族院デ通過シテ居ル案デアリマスカラ、手ヲ著ケタクナイト思ヒマスガ、其一點ケテ聽イテ見タイ

○政府委員(松浦鎮次郎君) 是ハ別ニ貴族院ヲ御審議ノ際ニモ此點ニ付テハ問題ハ起ラナカッタデアリマスガ、此ノ現行法ニ——古イ規則デアリマスケレドモ「文部大臣ノ定ムル所ノ規則ニ違背シ」ト云フ字ガ使テアリマス

○島田俊雄君 條件ト云フコトニ付テハ無イノデスカ

○政府委員(松浦鎮次郎君) 現行法ニハ條件ニ違反シタト云フ場合ガ特ニ擧ゲテナイ

○政府委員(福原鏞二郎君) 此產業地試驗費講習費國庫補助法、之ニ斯ウ書イデアリマス「主務大臣ノ定メタル規程若ハ補助ノ條件ニ違反」ト書イデアリマス、ソレカラ農會法ニ「總會ノ決議カ法令若クハ會則ニ違背シ」トアル

○島田俊雄君 ソレハ何年頃

○政府委員(福原鏞二郎君) 產業地試驗費講習費ノ方ハ二十九年、ソレカラ農會法ノ方ハ二十八年、イロ／＼ニナツテ居リマス

○島田俊雄君 外ニ質問ハアリマセヌ

○八木逸郎君 先程私ハ遅レマシタノデスガ、現在今日マデ補助シタル金額ハ分リマセヌカ

○政府委員(松浦鎮次郎君) 此前島田君カラノ御尋デ極ク正確ノ處ハ申上ゲマセ

シカッタガ、近頃デハ毎年二十萬圓ツ、補助スルコトニナツテ居ル、其以前ハ二十五萬圓ノ事モアツタ、來年度豫算ハ補助金ガ二十五萬圓ニナツテ居ル、是ハ行政整理ノ結果デ已ムラ得ズ少シ減少致シテ居リマス、ソレデチヨット申上ゲテ置キマスガ、今度ハ補助ノスル範圍ガ廣クナツテ居ルニ拘ラズ、補助金ハ本年度ヨリモ來年度ノ方ガ減ツテ居ル、斯ウ云フ姿ニナツテ居リマスガ、是ハ將來補助ノヤリ方ニ付テ成タケ府縣立ノ學校ト云フヤウナ資力ノ大キナ團體テ立ツテ居ルモノハ、學校ノ性質ニモ依リマスケレドモ、一般ニ申シマストサウ云フトコロノ補助ハ段々ニ——少クトモ經常費ノ補助ト云フノハ期間ノ切レタモノハ廢シテ參リマシテ、サウシテ資力ノ小サナ市町村立或ハ郡立デアルトカ云フ學校ニ其分ヲ廻シテ行カウ、或ハ私立ノ學校ニモサウ云フモノヲ増シテ行カウト云フヤウナ方針デアリマス、ソレデ來年度ノ補助金ハ本年度ニ比ベルト却テ減ツテ居リマスガ、サウ云フ風ニ多少補助ノヤリ方ヲ變ヘテ參リマスト、範圍ハ廣ゲテ參リマシテモ、左程困難ハ感シナイ積リデゴザイマス、最モ是ハ追々ニ又補助金ガ出來マスナラバ増額シテハ參リタイト思ヒマスガ、サウ云フ譯ニナツテ居リマス

○八木逸郎君 尙御尋シタイデスガ、此改正案ニ依ルト範圍ガ前ヨリ廣クナリマシテ、經常費以外ニ教員ノ費用トカ種々ノ事マデ補助ヲ與ヘルコトニナリマスガ、今ノ御説明デ大體分リマシタガ、若シモ二十萬圓テ止マラズニ尙ソレヨリ上ニ出ルト云フ場合ニ於キマシテハ、豫算ガ二十萬圓デアルカラ更ニ他ノ方カラ持ッテ來テソレニ適應スルト云フコトハ或場合ニハ出來ナクテ、サウ云フ場合ニハ來年ニ繰越ストカ云フコトヲ補助ラスベキ資格ハ認メテ居ッテモ金ガナイ爲ニ次ノ年ニ廻サウニナリマスガ、若シサウ云フ場合ニ於テハヤハリ法律ノ規定ニ基イテヤッテ足ラヌモノハ何等カノ方法デ補充シテ行クト云フコトニナリマスガ、ソレヲ伺ッテ置キタイ

○政府委員(松浦鎮次郎君) 唯今御尋ノヤウナ場合ハ是ハ二十萬圓ダケノ豫算デアリマスカラ、豫算ニ超過シテ補助ヲ致スト云フ譯ニハ參リマセヌト思ヒマス、外カラ持ッテ來ルト云フ見込モアリマセヌガ、故ニサウ云フ場合ニハ已ラ得ズ他ノ學校ノ或ハ補助ノ期限ガ切レテ、最早補助スル必要ガナイト云フ場合ノ起ツタモノヲ融通シテ、固定シナイ金ガ出來ルノヲ待ツ外ハナカラウト思ヒマス

○委員長(法學博士戸水寛人君) 島田君御質問アリマス

○島田俊雄君 アリマセヌ

○委員長(法學博士戸水寛人君) ソレデハ之ニ付テ質問終了トシテ宜シウゴザイマス

〔異議ナシ〕下呼フ者アリ

○委員長(法學博士戸水寛人君) 然ラバ一案共質問終了致シマシタガ、之ニ付テ修正意見ガゴザイマセヌナラドナタカ……

○島田俊雄君 私ハ此學事通則デ唯一箇所文字ヲ除キタイト思フ所ガアリマスガ、チヨット速記ヲ止メテ戴イテ、政府委員ノ方ニ御協議ヲシテ見タイ、宜ケレバソレデヤリタイト思ヒマスガ……

○委員長(法學博士戸水寛人君) 宜シウゴザイマス、ソレデハ暫時速記ヲ止メマス

〔此間速記中止〕

○法學博士花井卓藏君 私ハ教育調査會ヲ説明ヲ得テ、私自身ハ寧ロ之ヲ了シテ居ルノデスガ、法文ノ解釋ノ上ニ惑イテ生ズルニ相違ナシト信ジマスカラ伺フノデスガ、其伺フ點ハ第一條ニ書イテアル「教育事務」ト云フ文字、ソレカラ第五條ニ書イテアル「學區ノ兒童教育事務」ト云フ文字、ソレカラ第十九條ニ「教育ニ關スル事項」ト云フ文字ニ惑イテ居ル、教育事務ト云フコトハ教育行政ト云フ意味アルカ、或ハ教育行政以外ニ教育ナルモノモアルノデアルカ、若クハ教育ソレ自身ハ教育行政ノ一部ト見テ居ルノデアルカ、斯ウ云フコトヲ伺フテ解釋上惑イナイヤウニシテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(田所美治君) 一條其他ノ條ニ教育事務ト云フ文字ヲ便ツテ居リマスガ、是ハ全ク現行ノ規定ヲ二十年來施行シタノデアリマス、其文字ヲ其儘襲用シタノデアリマス、ソレニ外ナリマセヌガ、サウシテ其意味ハ教育事務ト云フノハ極メテ廣汎ナ意味ニシマシテ、無論教育事務ト云フコトニ付テハ御疑ハ花井君サノハ教育ソレ自身ノ内容ノ仕事ノヤウニ取ル、教育ノ行政ト云フ意味ハ含マヌノデアリカト云フノデアリマスガ、教育事務ハサウ云フヤウニ此文字ヲケテ解釋シマスルナリマスガ、主意ハ從來ノ解釋テ來テ居リマスガ、廣汎ナル意味、教育行政事務及教育ソレ自身ノ事柄モ皆採ツテ居リマス、ソレ第二ノ御尋ハ教育ノ仕事ヲスルノモ無論含ムノデアリマス、即チ學校長ガ教育ヲスル、兒童ニ教ヘルト云フコトモ含ム、教育行政上其他行政ニ付テ命令ヲ發スルト云フコトモ、總テ包含サレル意味ニ使ツテ居リマス

○法學博士花井卓藏君 御答ハ法律的ノデナイノデ困ルノデスガ、教育事務ト云フモノノ内ニハ、教育ソレ自身ガ含マレルト云フコトニナルト、教育ソレ自身ハ行政ノデナイカラ私ハ惑イテ起シタノデアリマス、併ナガラ從來ノ慣例上教育事務ト云フハ教育ソレ自身、並ニ教育行政ト兼ネテ文字ニ適當ナルモノガナイカラ苦シ紛レニ此文字ヲ使ツテ居ルガ、因習ノ久シキ教育事務ノ文字ヲ以テ教育及教育行政トシテ今日マデ疑フ起サナカッタト云フノデアルト云フ御説明ナラバ、私ハ満足スルノデアル

○政府委員(田所美治君) 好イ文字ガウマク考ヘ付カヌ、區別シテモ何デモ宜ウゴザイマスガ今申上ゲマシヤウニ、從來是テ便宜ニ總テニ含マレテ居リマスカラ、ソレヲ襲踏スルニ止マルモノデアリマス、教育ソレ自身ノ仕事モト迄教育行政ノ仕事デ、其以上ハ教育ニ關セヌ、斯ウ云フ範圍ガムカシイデアリマスガ、是ハ又詳シク申シマスト學理上ノ論ニナルカモ知レマセヌガ、教育ニ關スル教育事務ト云フ内ニハ、教育行政教育ニ關スル事實上ノ行為モ亦ソレカラモウ一ハ見ヤウニ依リ教育ヲスル事實ノ仕事モ教育行政ノ内ニ入ル、要スルニ從來コレ働キガ付イテ居リマスカラ、便宜襲用シタニ止マルノデアリマス

○法學博士花井卓藏君 第九條ニアル教育ニ關スル事項ト云フ文字ハ、教育事務ト同ジ意味ニナルト解シテ可ナリヤ

○政府委員(田所美治君) 是モ從來ノ其儘使ツタノデアリマス、思フニ九條ノ方ハ内務大臣ノ職務ト云フノハ大概許可ヲシマストカ認可ヲスルトカ云フヤウナ、市制町村制ノ内ニ規定シテアル事項ヲ引用致シタノデアリマシテ、ドウモ内務大臣ノ職務ニ直チニ其監督ニ關シテ、認可トカ許可トカ、監督行為ガ教育事務ト待タヌモノデアリマスカラ、ソレ教育ニ關スル仕事ハ更ニ内務大臣ガ許可スルトカ認可スルトカ、斯ウ云フヤウニ或ハ

訴願ノ規定デアリマストカ、サウ云フモノヲ云フタノテ、一條其他ニ直チニ仕事ヲシマス、若クハ國ガ仕事ヲシマス事務ト云フコトニハ少シ不適當デアラウト云フコトカラ、教育ニ關スル事項ト云フ、ツマリ監督行為内ニ含シテ居リマス

○法學博士花井卓藏君 監督モ亦教育行政ニアラズヤ

○政府委員(田所美治君) サウモ云ヘマスガ、訴願ヲ裁決スルカ或ハ財産處分ヲ許可スルトカ云フヤウニ意味アルカラ、内務大臣ノ仕事ノ其教育ニ關スル事項ニ付テノ事柄ト云フコトニ、適切議ヘルモノデアリマスカラ、教育事務ト云フ曖昧ナ——花井君サノカラ云ハレルト曖昧デ、其文字ヲ遣ジテコッチガ適切ニ云ツテ居ルト立派ニ思ハレル

○法學博士花井卓藏君 然レドモ第九條ハ單リ内務大臣ニ關スル規定デナイ、文部大臣ニモ關スル規定ニアラズヤ

○政府委員(田所美治君) ソレハ内務大臣ノ市制町村制ニ規定シテアル職權ニ付テハ、文部大臣内務大臣ニ兩屬スルト云フ關係デゴザイマシテ、直接目的トスル事項ハ監督行為ニ關スル事項デアル、斯ウ云フ意味カラ區別シタモノグラウト考ヘマス、ソレヲ襲用シタニ止マツタノデ

○法學博士花井卓藏君 説明ハ感服シマセヌガ面倒カラ修正等ハシマセヌガ、ヤハリ教育事務ニ付テハドウ云フ方ガ地方學事通則ノ用ユル文字トシテ正シイト思ヒテ居ル、尙一點御尋ネシマスガ第九條ノ「内務大臣及文部大臣」トアル、此「及」ト云フ字ハドウ云フ意ガアルデセウ、又斯ウ云フ書方ガアルデセウカ、一般ニハナイデスガ教育ニ關スル法令ニ斯ウ云フ文字ガアルハ満足シマスガ、及「ト云フコトハ要スヌノザヤナイカ

○政府委員(田所美治君) 幸ニ發見シマシタガ、町村制ノ二百四十六條ニ「左ニ掲クル事件ハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クヘシ」ト書イテアルマス

○法學博士花井卓藏君 宜シウゴザイマス、ソレカラ甚ダ小サイ質問デスガ第二條ノ「市ノ區」ト云フ下ニ「ボツ」ガ打ツテアル、ソレカラ第八條ニ「其ノ學區ニ」ノ下ニ「ボツ」ガ打ツテアル此「ボツ」ハ意味アルノデスカ

○政府委員(田所美治君) 第二條ノ「ボツ」ハ市ノ區ガト云フ意味デアリマス、第八條ノハ終リニ準用スト云フ言葉ガ中間ニ入ッテ來ルノヲ避ケルタメニ「ボツ」ヲ打ツタノデアリマス

○法學博士花井卓藏君 私ノ問フノハサウデナクシテ、此ノ如キ場合ニ「ボツ」ヲ用井テ居ル例ガアルカ、此「ボツ」ハ無用ノ「ボツ」デハナイカト思フ「ボツ」無シト雖モ説明ノ通りヨリ外讀メナイ、文部省ハ「ボツ」ガ好キデ此法案ニ澤山用井テアル、例ヘバ第一條ニ「市ノ財產營造物ニ關セル規定ヲ」ノ下ニ「ボツ」第二條ノ「市區」ノ下ニ「ボツ」ソレカラ第七條ニナルト二箇バカリ使ツテアル、八條ニナルト「其ノ學區ニ」ノ下ニ使ツテアル「ボツ」ヲ濫用シテ居ルヤウニ見エル、アレハ皆除イテハドウデス、無クテ悉ク分カル「ボツ」デス、併シ現行ノ地方學事通則ニ斯ウ云フ場合ニ幾ツモ「ボツ」ガ使ツテアルハ異存ハナイ

○政府委員(田所美治君) 現行ノ「ハ」無イノデス、ツマリ法文中ニハ餘リ用井テ居ラヌカモ知レマセヌガ、明瞭ニスルタメニ外ナラヌノデアリマス、若シ「ボツ」ヲ削ツタガタメニ當ラヌヤウニナツテハ困リマスカラ……

○島田俊雄君 今ノ「ボツ」ハ御削リニナツタラドウデス「ボツ」ヲ置ク必要ガアルトスレバ

三條アタリニコソ置ク必要ガアリハシナイカト思フ所ガアリマス

○委員長(法學博士戸水寛人君) ドウカ御修正ガアレバ御質問ノアトテ御修正ヲ願ヒタイ

○法學博士花井卓藏君 質問ナシ

○委員長(法學博士戸水寛人君) ソレデハ修正意見ヲ伺ヒマス

○島田俊雄君 修正意見ヲ提出致シマス、ソレハ文字ノ修正デゴザイマスガ、第七條ノ第二項ハ市町村學校組合町村學校組合ニ關シテハ勅令ヲ以テト云フ下ノ市町村制ニ對シト云フ八字ヲ削リタイ、其趣意ハ此市町村學校組合及ビ町村學校組合ハ市制町村制ノ規定ニ依テ設ケラレタモノデアルト云フコトハ言フヲ待タヌデアリマス、此七條ノ第一項ノ規定ニ依テモ當然分リマスカラ、茲ニ其モノニ對シテ特別ノ規定ヲ設ケルニ付テ特ニ此八字ヲ置ク必要ハナイ、此八字ヲ加ヘテ置クガタメニ、却テ他ニ疑フ生ズルト云フヤウナ虞レモアリマス、ソレデ文章ノ續キカラ考ヘテ之ヲ削ル方ガ宜カラウト思ヒマス、又第一條ニモサウ云フ例ガアル、一條ノ但書ニ「但シ勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得」トアリマスカラ、其文例ニ從ツテ八字ヲ削リタイト思ヒマス

○法學博士花井卓藏君 贊成致シマス、而シテ私ハ第一條第二項第二條第七條第八條ニアル「ボツ」ヲ削ル修正ヲ出シマス

○島田俊雄君 贊成

○委員長(法學博士戸水寛人君) 島田君ノ修正動議ニ御異議ハアリマセヌカ

○委員長(法學博士戸水寛人君) ソレデハ島田君ノ修正ノ通りニ決議致シマス、次ニ花井君ノ修正ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(法學博士戸水寛人君) ソレデハ其通り決議致シマス

○島田俊雄君 他ニハ修正意見ハナイヤウデスカラ、以上ノ修正ヲ之テ之ヲ可決セラレタモノトシタイ

○委員長(法學博士戸水寛人君) ソレデハ唯今修正ニナッタ外ハ原案通り決シマス

○島田俊雄君 是ニ付テモ多少意見ハアリマスケレドモ、是ハ既ニ貴族院ノ議ヲ經テ出サレタモノデアリマスカラ、外ニ重大ナ修正意見モナイニ依テ、私ハ此儘贊成シタイト思ヒマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○委員長(法學博士戸水寛人君) 外ニ御意見ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(法學博士戸水寛人君) ソレデハ實業教育國庫補助ノ方ハ原案ノ通りニ可決致シマス、是デ散會致シマス

午前十一時四十二分散會

大正三年三月八日印刷

大正三年三月九日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局